

出雲市 障がい者ニーズ把握等のアンケート調査
(法人)

報告書

アンケート調査実施概要

回答期間	回答開始 令和4（2022）年8月26日 回答期限 令和4（2022）年10月7日
回答方法	アンケート依頼を発送し、web アンケートで回答
発送数	80
回収数（回収率）	66（82.5%）

グラフ等に関する注意事項

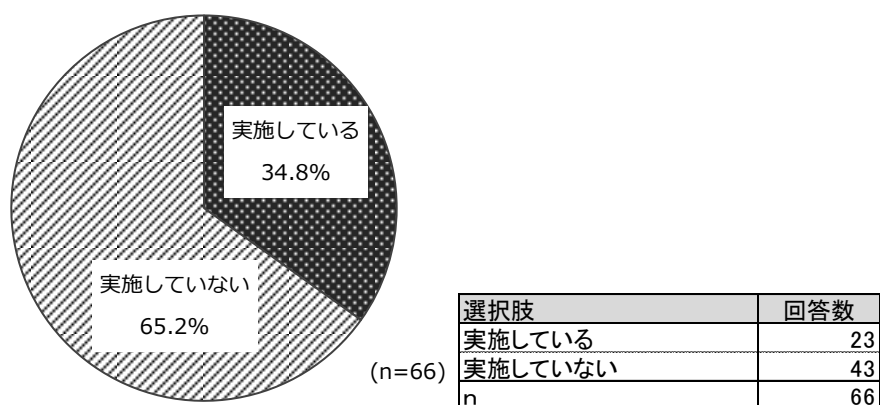
※端数処置の関係で、%の合計が100%にならない場合があります。

A. 基本情報

問1は法人名等の設問のため集計データはありません。

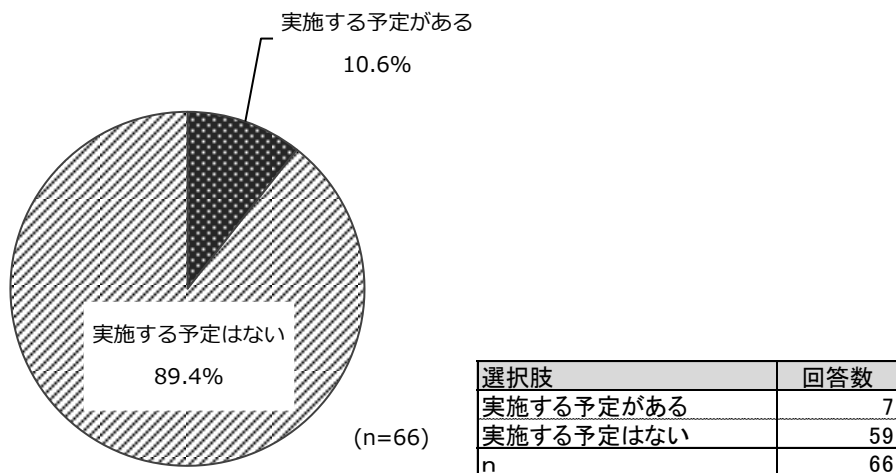
B. 地域生活支援拠点（ささえ愛サポート）

問2 地域生活支援拠点として事業を実施していますか。



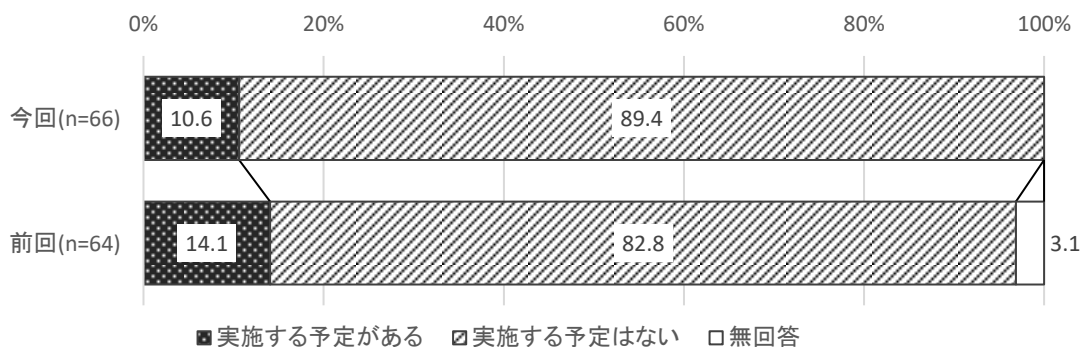
「実施している」が34.8%、「実施していない」が65.2%となっています。

問3 今後、地域生活支援拠点として事業を実施する予定がありますか。
 (すでに事業を実施している法人については、現在の提供サービス以外のサービスを提供する予定がありますか。)



「実施する予定がある」が10.6%、「実施する予定はない」が89.4%となっています

【前回比較】

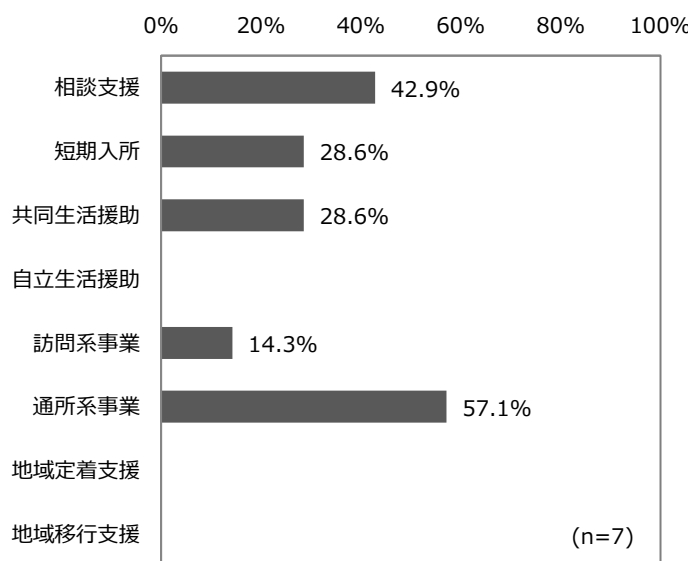


選択肢	今回	前回	今回 (%)	前回 (%)
実施する予定がある	7	9	10.6	14.1
実施する予定はない	59	53	89.4	82.8
無回答	0	2	0.0	3.1
n	66	64	100	100

前回調査に比べて「実施する予定がある」の比率が下がっています。

【提供予定サービス】

※この設問は複数回答のため、回答数の合計がn（全体）とは異なり、%の合計は100%を超える。



選択肢	回答数
相談支援	3
短期入所	2
共同生活援助	2
自立生活援助	0
訪問系事業	1
通所系事業	4
地域定着支援	0
地域移行支援	0
n	7

訪問系事業の業種:

- 訪問看護ステーション

通所系事業の業種:

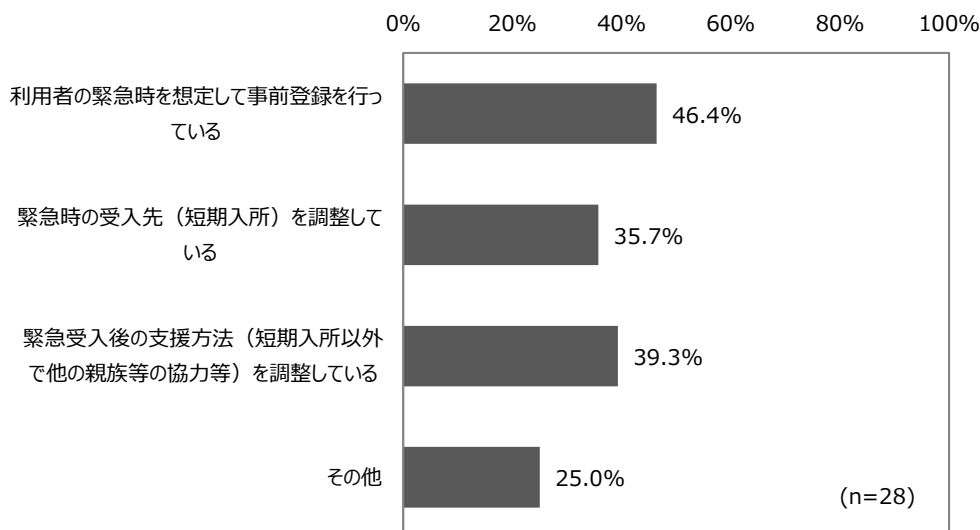
- 就労継続支援B型(3件)
- 就労継続支援

「通所系事業」が最も多く57.1%、次いで「相談支援」42.9%、「短期入所」・「共同生活援助」28.6%となっています。

問4 【「相談」の機能を担う事業を実施している、または実施を予定している法人にお聞きします。】

利用者の緊急時における具体的な支援方法についてどの程度まで検討していますか。
(あてはまるものすべてにチェック)

※この設問は複数回答のため、回答数の合計がn（全体）とは異なり、%の合計は100%を超える。



選択肢	回答数
利用者の緊急時を想定して事前登録を行っている	13
緊急時の受入先(短期入所)を調整している	10
緊急受入後の支援方法(短期入所以外で他の親族等の協力等)を調整している	11
その他	7
n	28

その他の内容:

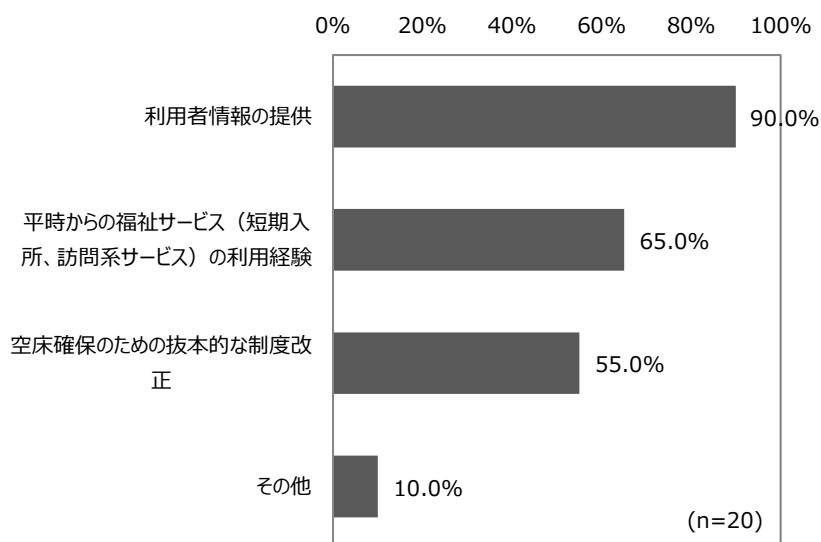
- 現時点では実施なし
- 関連法人の GH の空き状況の確認
- 関連法人の日中サービスの空き状況の確認
- ささえあいサポートの説明は行っているが、実際に利用・登録にまでは至っていない
- 緊急時に対応する能力がないので(施設や人材)難しい
- 該当利用者があれば事前登録を検討しようと考えている
- 想定を検討している利用者はいる

「利用者の緊急時を想定して事前登録を行っている」が最も多く 46.4%、次いで「緊急受入後の支援方法（短期入所以外で他の親族等の協力等）を調整している」39.3%となっています。

問5 【「緊急時の受け入れ・対応」の機能を担う事業を実施している、または実施を予定している法人にお聞きします。】

利用者の緊急時の受け入れ・対応を円滑にするために必要なことは何ですか。（あてはまるものすべてにチェック）

※この設問は複数回答のため、回答数の合計がn（全体）とは異なり、%の合計は100%を超える。



選択肢	回答数
利用者情報の提供	18
平時からの福祉サービス（短期入所、訪問系サービス）の利用経験	13
空床確保のための抜本的な制度改革	11
その他	2
n	20

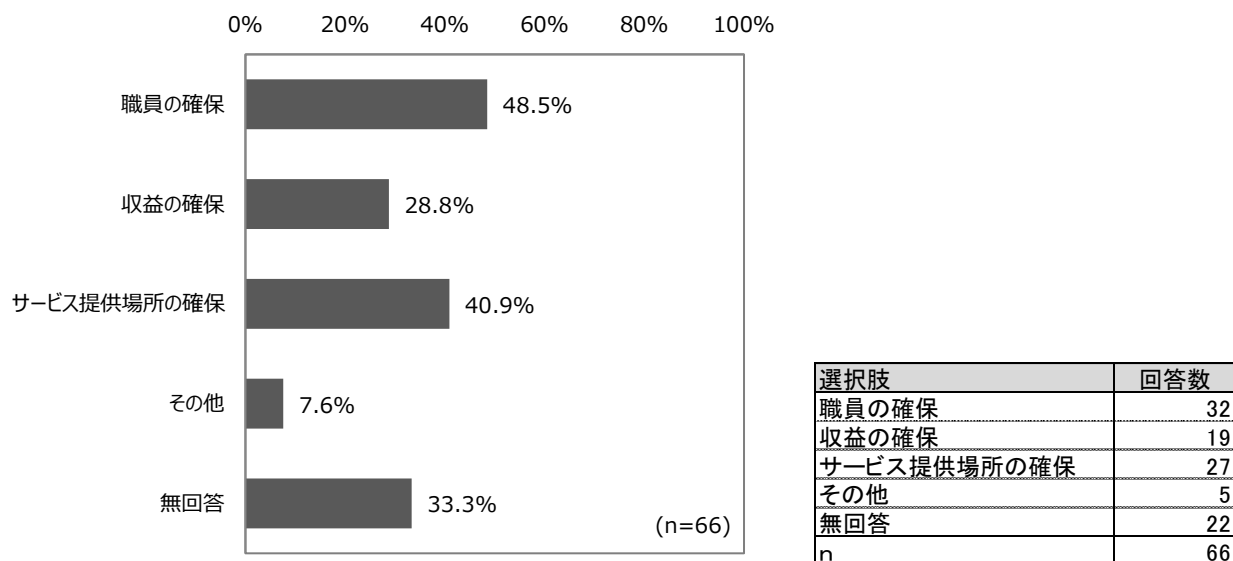
その他の内容:

- 迅速な協議の場の設定と臨機応変な対応。特に未登録者に対して
- 現在対象者と相談中

「利用者情報の提供」が最も多く90.0%、次いで「平時からの福祉サービス（短期入所、訪問系サービス）の利用経験」65.0%となっています。

問6 地域生活支援拠点登録にあたっての問題点は何ですか。(あてはまるものすべてにチェック)

※この設問は複数回答のため、回答数の合計がn（全体）とは異なり、%の合計は100%を超える。



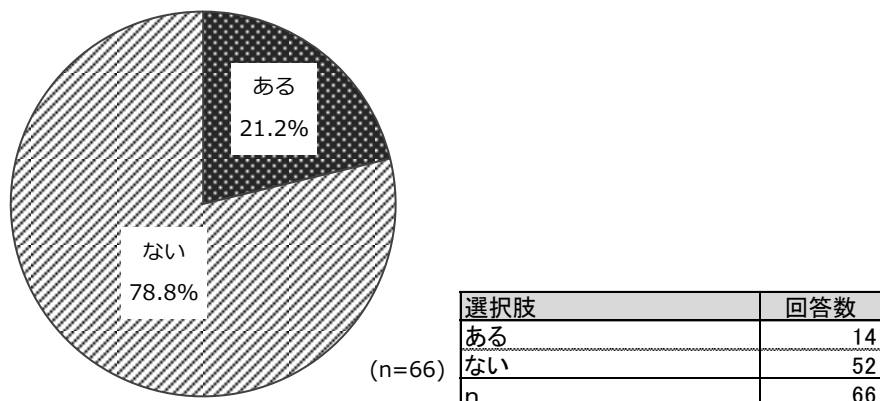
その他の内容:

- 収益があり、職員が確保できる程度の報酬単価のアップ
- 問題点はないが通所施設が担える役割やその必要性がどれ程あるのかわからない
- 対応スキル
- 職員の対応スキル
- 運用の仕方が分からない

「職員の確保」が最も多く 48.5%、次いで「サービス提供場所の確保」40.9%となっています。

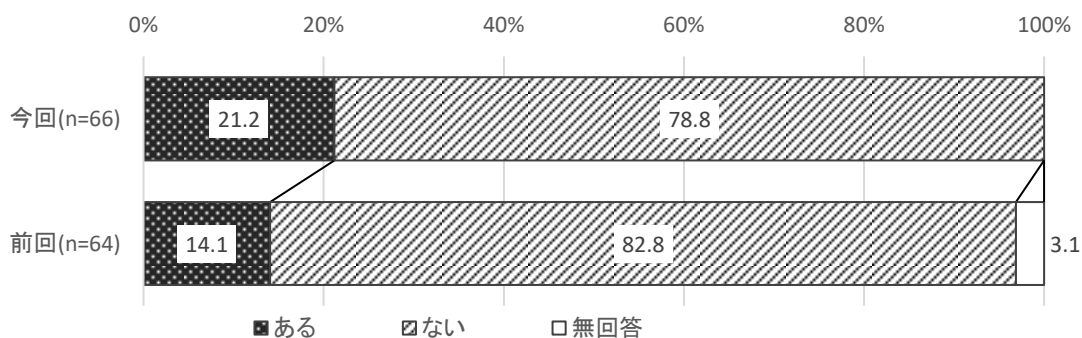
C. 障がい福祉計画、障がい児福祉計画策定

問7 貴法人内の各事業所で、新規事業への参入予定はありますか。



「ある」が21.2%、「ない」が78.8%となっています。

【前回比較】



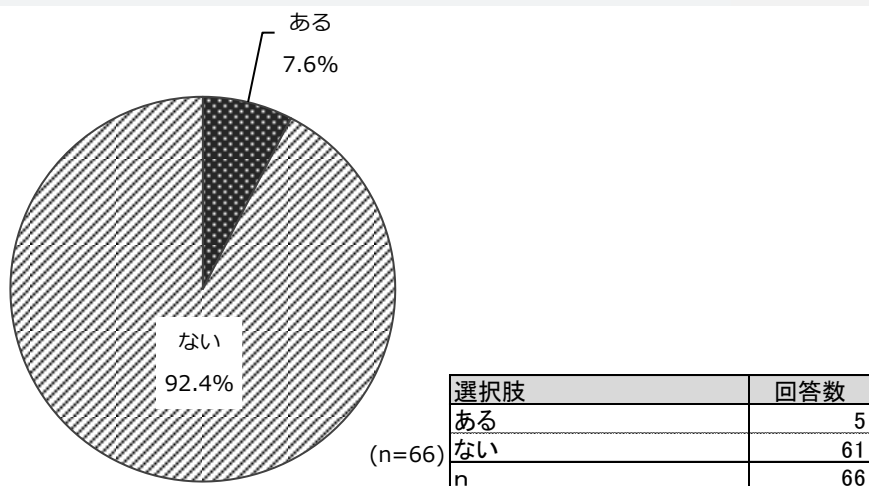
選択肢	今回	前回	今回 (%)	前回 (%)
ある	14	9	21.2	14.1
ない	52	53	78.8	82.8
無回答	0	2	0.0	3.1
n	66	64	100	100

前回調査と比べて、「ある」の比率が上がっています。

問7 「ある」を選択した法人にお聞きします。参入する事業所名、事業名、利用定員を記入し、参入時期を選択してください。

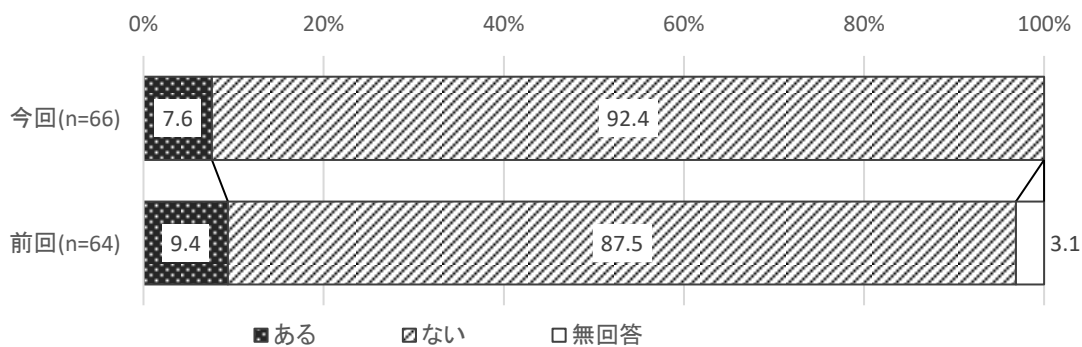
法人	事業名	利用定員(人)	参入時期					未定
			令和4年中	令和5年中	令和6年中	令和7年中	令和8年中	
A	放課後等デイサービス	10						○
B	共同生活援助	20		○				
C	就労継続支援B型	20					○	
C	居宅介護	20						○
D	短期入所	空床型	○					
E	居宅介護事業	20		○				
E	児童発達支援・放課後等デイサービス	10		○				
E	就労継続支援B型	10		○				
F	放課後等デイサービス	10						○
F	地域生活支援事業	5						○
G	就労移行支援	8				○		
H	未定	20		○				
I	放課後等デイサービス	10			○			
J	放課後等デイサービス	10		○				
K	児童デイサービス	10						○
L	未定	未定		○				
M	未定	未定						○
N	未定	未定						○

問8 貴法人内の各事業所で、拡張する予定の事業はありますか。



「ある」が7.6%、「ない」が92.4%となっています。

【前回比較】



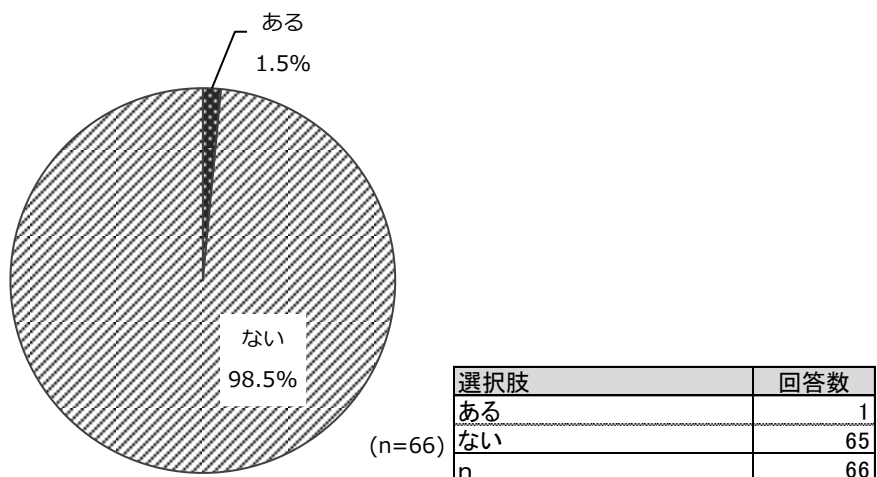
選択肢	今回	前回	今回 (%)	前回 (%)
ある	5	6	7.6	9.4
ない	61	56	92.4	87.5
無回答	0	2	0.0	3.1
n	66	64	100	100

前回調査に比べて「ある」の比率が下がっています。

問 8 「ある」を選択した法人にお聞きします。事業所名、拡張する事業名、利用定員を記入し、拡張時期を選択してください。

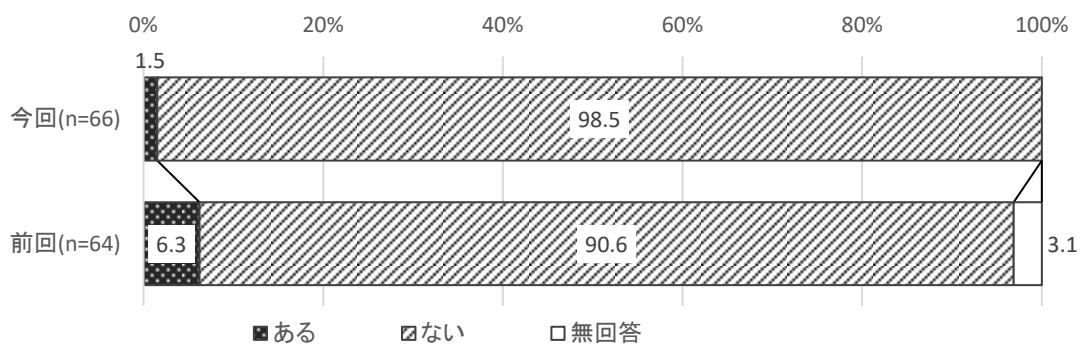
法人	事業名	利用定員(人)	拡張時期					未定
		拡張前	令和4年中	令和5年中	令和6年中	令和7年中	令和8年中	
		拡張後						
A	就労継続支援B型	20	○					
		35						
B	相談支援事業	3		○				
		10						
C	就労継続支援B型	10			○			
		20						
D	就労継続支援B型	0			○			
		20						
E	居宅介護	1		○				
		3						

問9 貴事業所内の各事業所で、廃止する予定の事業はありますか。



「ある」が1.5%、「ない」が98.5%となっています。

【前回比較】



選択肢	今回	前回	今回(%)	前回(%)
ある	1	4	1.5	6.3
ない	65	58	98.5	90.6
無回答	0	2	0.0	3.1
n	66	64	100	100

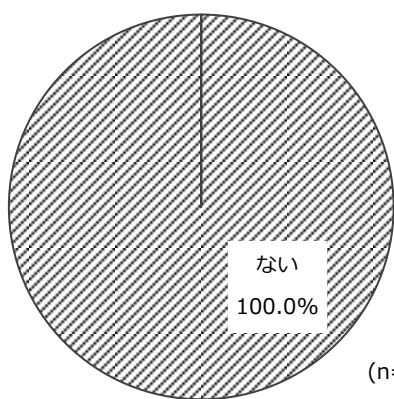
前回調査と比べて「ある」の比率が下がっています。

問 10 「ある」を選択した法人にお聞きします。事業所名、廃止する事業名、利用定員を記入し、廃止時期を選択してください。

法人	事業名	定員(人)	廃止時期					
			令和4年中	令和5年中	令和6年中	令和7年中	令和8年中	未定
A	日中一時支援事業	2	○					

問 10 貴法人内の各事業所で、縮小する予定の事業はありますか。

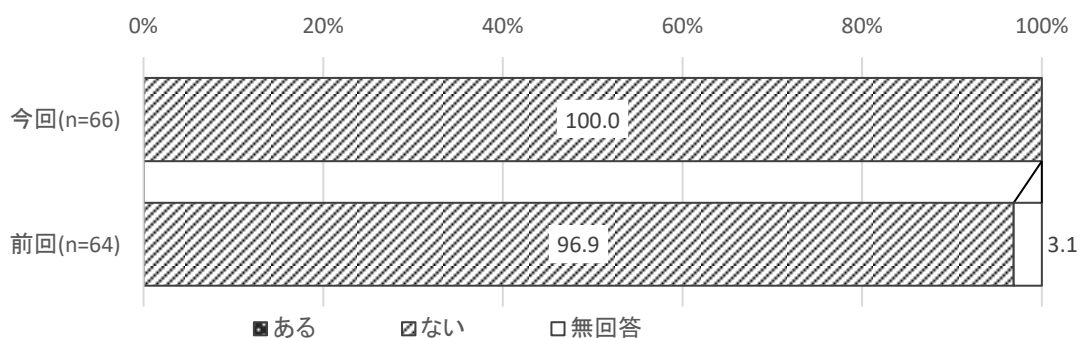
※回答がない選択肢はグラフに記載していない。



選択肢	回答数
ある	0
ない	66
n	66

「ない」が100%となっています。

【前回比較】



選択肢	今回	前回	今回(%)	前回(%)
ある	0	0	0.0	0.0
ない	66	62	100.0	96.9
無回答	0	2	0.0	3.1
n	66	64	100	100

問 11 「ある」を選択した法人にお聞きします。縮小する事業所名、事業名、利用定員を記入し、縮小時期を選択してください。

該当なし